

事務事業チェックシート

事務事業No 412 事業名 松くい虫防除事業

[事業基本情報]

事業区分(1)	事業経費 その他		管理経費	○
事業区分(2)	自治事務	○	法定受託事務	
	その他			
会計・ 予算区分	会計		一般会計	
	款		農林水産業費	
	項		農林緑花費	
	目		林業振興費	
	大事業 事項		林業振興事業 松くい虫防除事業	

[長期総合計画]

分野別目標	3	市民と地域がつくる元気なまち
政策	1	地域産業の振興
施策	3	農林業の振興
基本方針	2	農林業の多面的機能の維持・活用

[まち・ひと・しごと創生総合戦略]

基本目標		
政策		
施策		

「3つの約束・44の約束」との関連性

3つの約束	産業を元気に	まちを元気に	人を元気に	非該当
	○			
44の約束				○

事業種別	継続	主な事務事業	
事業期間	H15 ~		
事業実施の根拠法令			
関連個別計画	友ヶ島・和歌山城防除計画		
担当課・担当課長 (Tel)	農林水産課	山本 康造(435-1049)	
関連課	観光課・和歌山城整備企画課		

1 事業概要及び実施内容

事業目的（「誰・何」をどういう状態にする」ための事業か）		事業内容					
事業概要	松くい虫による松林の被害を防止し、森林のもつ自然環境の保護並びに生活環境の保全を図る。		森林の持つ公益的機能を保全するために、松林の消毒並びに予防伐倒を行い、松くい虫による被害を防止する。				
実施内容			平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
			松林への薬剤散布及び被害木に対する伐倒駆除	松林への薬剤散布及び被害木に対する伐倒駆除	松林への薬剤散布及び被害木に対する伐倒駆除	松林への薬剤散布及び被害木に対する伐倒駆除	松林への薬剤散布及び被害木に対する伐倒駆除

2 事業コスト

	平成25年度		平成26年度		平成27年度		平成28年度		平成29年度	
	当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	計画	決算
事業費	1,217	1,102	1,446	454	1,501	1,010	1,367		1,367	
伸び率 (%)	-	-	18.8%		3.8%		-8.9%		0.0%	
人件費	常勤職員	1,898	1,906	1,906	1,891	1,906	1,564	1,906	1,906	
	非常勤職員	0	0	0	0	0	0	0	0	
	小計	1,898	1,906	1,906	1,891	1,906	1,564	1,906	1,906	
国庫支出金										
県支出金	560	518	662	227	693	504	645		645	
市債										
その他										
一般財源(税等)	657	584	784	227	808	506	722		722	
所要人数	常勤職員	0.25	0.25	0.25	0.25	0.25	0.21	0.25	0.25	
	非常勤職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0	0	0	
主な予算内訳	委託料 1,367千円									

3 目標及び実績

		指標名及び達成状況			平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
活動指標	年度目標値								
	実績値								
単位	全体目標値		全体目標達成度	年度別達成度					
成果指標	年度目標値				13	13	13	13	13
					2.75	0	2		
	実績値				23.0%	0.0%	15.4%		
単位	m3	全体目標値	13	全体目標達成度	100.0%	年度別達成度			
被害松材積									
地域内で被害に合わなかった松の本数									
単位		全体目標値		全体目標達成度		年度別達成度			

4 事業の評価

評価基準					
[妥当性]事業のニーズはあるか		増加している	○	横ばい	減少している
[妥当性]事業手段は妥当か	○	現行の手段でよい		一部見直しが必要	見直しが必要
[妥当性]官民の役割は妥当か	○	市が行うべき		他の主体との協働も可能	市が行う必要性は薄れている
[妥当性]緊急的に取り組む必要はあるか		急いで取り組む	○	中長期的に取り組む	緊急性は薄い
[有効性]更に効果が期待できるか		できる	○	あまりできない	できない
[有効性]成果目標はどの程度達成しているか	○	達成している(90%以上)		おおむね達成(70~90%未満)	達成していない(70%未満)
[有効性]上位施策への貢献度		重要かつ高い貢献度がある	○	一定の貢献度がある	貢献度は低い
[効率性]事業費を抑制できるか	○	できない		制約はあるが可能性はある	できる
[効率性]受益者負担の見直し		適正	○	負担は求められない	見直しが必要

5 今後の方向性 (担当課評価)

事業内容の方向性	充実				
	現状維持			○	
	縮小				
	廃止				
		ゼロ	縮小	現状維持	拡大
コスト投入の方向性					

担当課評価の根拠	松林を守るため、マツクイムシの蔓延を防ぐ害虫駆除が引き続き必要です。
「見直し」 「改善」案	